

# KEIJYOJI

菊枝山 慶誠寺 通信

magazine

No.86

<https://www.facebook.com/keijyoji/>





# 第10回 関東在住離郷門信徒のつどい in 築地本願寺

令和5年7月23日(日) 11時～13時 築地本願寺



レンタル元受刑者 フナイム氏



フナイム氏は「誰でも簡単に特殊詐欺に加担することができる」という。そんなフナイム氏が犯した罪を詳しく説明すると、いつの日からか、自分も「派手な暮らしをしたい」と金銭欲が膨らんでいった。当初は、水商売をしていたころ



フナイム氏は「誰でも簡単に特殊詐欺に加担することができる」という。そんなフナイム氏が犯した罪を詳しく説明すると、いつの日からか、自分も「派手な暮らしをしたい」と金銭欲が膨らんでいった。当初は、水商売をしていたころ

フナイム氏は「誰でも簡単に特殊詐欺に加担することができる」という。そんなフナイム氏が犯した罪を詳しく説明すると、いつの日からか、自分も「派手な暮らしをしたい」と金銭欲が膨らんでいった。当初は、水商売をしていたころ

今年で10回目を数える慶誠寺関東在住門信徒のつどい。毎年、同窓会のようにお集り頂き皆さんで盂蘭盆会の勤行をして、食事をしながら楽しいひと時を過ごしています。今回は、10回目を記念して、特別講演を特殊詐欺事件で服役していた元受刑者のフナイム氏にお願いしてお話をして頂きました。「レンタル元受刑者」として、犯罪をおかした人やその家族の相談に乗っているフナイム氏。特殊詐欺事件で実刑判決を受け、2021年11月に刑期満了を迎えている。自らの犯罪歴を明かして活動するのは、なぜなのか。その話を聞きたくてお呼びした訳です。

の友人に誘われ、未公開株や転換社債の取引をしていた。その後、輸入雑貨の販売を始めたが、売上は伸びず、「派手な暮らし」は叶わなかった。そんなある日、羽振りのよい男性に「金を稼ぐにはこんな方法がある」とマニュアルを渡された。そこに書かれていたのは、詐欺の手口だった。金に目がくらんだフナイムさんは、当時の友人数人を集め、グループを結成。名簿を購入し、65歳以上の高齢者をターゲットに、マニュアルどおりに電話した。老人ホームの入居権をめぐり、複数の人物や業者が登場する「劇場型詐欺」といわれるものだ。

フナイム氏は、電話口で受付役やベテランの弁護士役などを演じた。「被害者から現金を受け取る時は、弁護士役を演じながら、ずっと電話をつないでいました。『今からうちの事務員が向かいます』と話したあと、電話越しに呼び鈴の音が聞こえたり、被害者に『この人ですかね？ よろしくおねがいします』と言われるたりした瞬間は、心が痛むんです。でも、被害者が現金を渡したことを確認し、電話を切ったあと、一気にオッシャアアア！と歓喜の感情がわきました」数千万円の現金を目の前にし、「こんなに簡単に手に入るなら」と歯止めがきかなくなりました。手に入れた金は生活費やブランド品、旅行や飲み代などに使い、貯金もしていた。家では「詐欺師」の顔を隠しながら、「父親」「夫」として過ごす。嘘をつく毎日だった。

慶誠寺住職 石田慶嗣





株式会社中川 代表取締役 中川清孝氏



## 株式会社中川 創業120年慶讃奉告式

令和5年6月24日(土)

慶誠寺法務員 辰巳大之

旭川3条19丁目にある慶誠寺のお檀家「株式会社中川」さんは、お風呂と水回りをはじめ、暮らし住まいの仕事をする建設会社です。このたび、会社の創業120年を迎えるにあたり、「株式会社中川創業120年慶讃奉告式」が慶誠寺で勤められました。中川さんと慶誠寺は、古くから深いご縁があり、会社の代表中川清孝さんは、慶誠寺門信徒総代をされ、その母、中川えつ子さんは、長年、慶誠寺仏教婦人会会長をされていたこと等、大変お世話になっているお檀家さんです。

創業120年を祝う法要は、賑やかにと、慶誠寺で年に一度、報恩講でのみ勤められる音楽法要を執り行い、オルガンと雅楽、旭川龍谷高校の聖歌隊も参列し、盛大に勤まりました。

お勤めの後紹介された、120年の会社の歩みでは、いかに会社が変わり変わる時代の荒波を乗り越えてきたか、その歴史を聞かせて頂きました。創業当時の明治37年は、会社は木桶屋として木製の樽や桶を作り売っていたといいます。皆が銭湯に通っていた時代、家でも温かいお風呂に入りたいという願いから、多くの家に風呂桶を届けました。しかし、木桶だけを作り販売していたなら、今の会社は存在しません。一軒一軒、その家の困りごとを聞き、それに応えるため、お湯や、水回り、トイレと、人々の願い、生活の悩みに合わせ、奮闘し業態を変えていったからこそ、今の会社があるのだといいます。

代表の中川清孝さんの挨拶では、いくら時代が変わろうとも「人のお役に立つことが、仕事になり、商いになる」と会社の本質を語られました。常々から、「会社を大きくすることが、会社の目的では無い」と地域貢献の大事さを言っていた中川さん。商いも含め全てにおいて、「人を大事にする以外に道はないんだよ」と諭された気がします。

歴史と実績は安心。皆さんも、水回りのトラブル、リフォームの相談等、中川さんに相談してみてもはいかがでしょうか。

**株式会社 中川** 北海道旭川市3条通19丁目左1号

明治37年に旭川で創業したお風呂と水回りに特化した建設会社です。  
リフォームのご相談、水回りの緊急サポートなど皆様の生活の力になります。

お電話でのお問い合わせは0166-31-3811までどうぞ







夕張郡長沼町 誓報寺 天野廣海 師

# 宗祖親鸞聖人月忌法要

夕張郡長沼町 誓報寺 天野廣海 師

令和5年5月15日(月)

5月の常例布教は、長沼町の誓報寺より天野廣海師をお迎えいたしました。先生は7年前に住職をおやめになられました。勢力的に布教に回っておられるそうです。当山にも2年前の5月15日にいらっしゃって、大変ありがたいお話をお聞きいたしました。

今回の御講題は「浄土に生まれる人生」とされてご法話を頂戴いたしました。その中でも特に印象深いエピソードをご紹介します。先生のお寺のご門徒様の中に、大変熱心にお聴聞なされていたおばあちゃんが、いらっしゃったそうです。お説教の日になれば必ずお寺にいらっしゃり、一番前に座りお聴聞なさっていたそうです。病気になるからもうわざわざ先生にお願いして、お説教を録音したものを聞いていたそうです。その後病気の進行が進み、今日明日でお浄土に旅

立つてしまうのではないかと、いう時に、家族の方に「自分が死んでしまつて、お葬儀をした時に赤飯を炊いてほしい」とおっしゃったそうです。当然ご家族の方は反対なされたのですが、しかしその方は「わたしはただ死んでしまうのではないよ。死んでお浄土で仏様に生まれ変わるんだよ」とおっしゃったそうです。い

よいよお亡くなりになった後、お葬儀の後の御斎には赤飯が出されたそうです。やはり疑問の声が上がったそうですが、ご家族はおばあちゃんがお話くださったことをそのままお伝えしたそうです。このお話の後先生は、私たちの人生が「死んだらおしまい」の人生ではない。阿弥陀様がお浄土を、私たちが命終えた時に帰る場所としてお作りになった。帰る場所があるから人は安心できる、帰る場所がないと不安しか無い。死んだらおしまいではない、お浄土が私たちの帰る場所であるか

ら私たちは安心して生き抜いていけるのでは無いかとお話し下さいました。

私にも子供の頃がありました。(当たり前なのですが)その際、実家の岩手県から東京まで遊びに行った思い出があります。ちよこちよこ動き回る子供であったため、実はその都度迷子になった記憶があります。もしかしたら帰れないのではないかと思つたものです。しかしこの時、両親が私を見捨てることなく探してくれました。言い換えれば探してくれる人がいるから自分が迷子であることに気づくことができましたのです。改めて迷いの中にいることを自覚させられた、今回のご法話でした。きる道であります。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



MORINAGA  
株式会社 盛永組

安全・安心 快適な社会環境づくりを!

本社：旭川市4条通5丁目左10号  
TEL (0166) 22-0151 FAX (0166) 22-0170  
札幌支店：札幌市中央区南1条西6丁目 旭川信金ビル  
TEL (011) 271-6495 FAX (011) 221-6897  
営業所：東京・関西・関東

<http://www.morinagagumi.co.jp>







徳島県 安楽寺 千葉恒乗 師

# 聖徳太子御命日講

徳島県 安楽寺 千葉恒乗 師

令和5年6月15日(木)

6月の常例布教は、徳島県安楽寺よりご講師をお迎えして聖徳太子ご命日講としてお勤めさせていただきました。法要は普段めつたに聞く事のない「聖徳太子奉賛早引き和讃」を勤めてからの布教となりました。

先ず初めに講師は聖徳太子についてのお話しをなされました。その中で聖徳太子を信仰の対象にしている人たちの集まりである「太子講」というものが有ると紹介くださりました。この太子講は元々建築などに携わる大工や芸能を生業とする人たちが多く参集してきていたということでありました。それらの人々が集まって念仏の道場を建て、それがだんだんと現在ののお寺の形になっていったのであるとお話いただきました。そして本題として如来の「智慧」と「慈悲」についてお話しくださいました。その中で「信心」という事でお話しくださったのですが「信心」とい

ことは嘘偽りのない、媚びへつらわれない、そして信順して任せる心であるとお話しくださいました。

私たちは常々信心するとか信心が有るとか無いとか簡単に口にすることが有りますが、それでは自分自身の中に講師が言われるような心があるのか、といわれるといかがでしょうか。冷静に客観的に自分自身を見つめてみると残念ながらそのような心は持ち合わせてはいないようであります。普段からお寺に参詣し手を合わせて「南無阿弥陀仏」と口にしていながらも私の心はどこまでも自分勝手であり、自己中心的であり、嘘偽りだらけではありませんでしょうか。そして上に対しては妬みへつらい、下に対しては増長し傲慢であったりしなかつたでしょうか。あらゆることを自分にとって都合のいいように考え、行動し他人を顧みないような言動をしていなかつたでしょうか。そのよ

うな自身の姿を振り返つた時に親鸞聖人のお造りになられたご和讃、正像末和讃の「浄土真宗に帰すれども 真実の心はありがたし 虚仮不実のわが身にて 清浄の心もさらになし」の一首が、わが身わが心に沁みてきます。そんな私が今ここに居るからこそ「阿弥陀如来」はそのままの私のまま「救う」手立てを創るために長い時をかけて思惟して四十八もの誓願を建てられたのであります。そして永遠とも思われるような長い時をかけてご修行して下さり、どのような機根のものであつても修し易い「南無阿弥陀仏」の六字の名号となつて下さつたのであります。そして「我が名を呼べ」と私に呼びかけ続けていて下さっているのではありません。その呼び声私に到り届いたとき、只々報恩感謝の「お念仏」を称えるばかりなのであります。

慶誠寺法務員 正平勝導

法要会席 5,250円～

# 雪の屋

旭川市神居町富沢409観音台 Tel 0166-61-2266





# 宗祖親鸞聖人月忌法要

下関市 専徳寺 住職 原田英眞 師

令和5年7月15日(土)



下関市 専徳寺 住職 原田英眞 師



7月法要は、山口県下関市、原田英眞師よりご法話を頂きました。

ご法話の中で、『仏説阿弥陀經』に説かれてある、「五濁悪世(ごじよくあくせ)」の話がありました。五濁悪世とは、私たちの暮らす環境や人間は、お釈迦様がいた時代からどんな悪くなっていく様を、五つの濁り汚れとしてあらわしたものです。

劫濁(こうじよく)時代の汚れ、見濁(けんじよく)物の見方が汚れ、衆生濁(しゅじよく)人々が汚れ、煩惱濁(ぼんのうじよく)欲に歯止めがきかなくなり、命濁(みやうじよく)命が汚れて短くなる、というのです。

劫濁の、劫はとてつもなく長い時間のことを指し、時代が汚れていく様を、劫濁といえます。科学技術の進歩もあり、世間では時代が良くなることを目指しますが、仏教では、世の中は悪くなっていくというのです。

御講師は、山口県の角島(つ

のしま)という離島の話を紹介されました。角島は20年ほど前に本州と島を結ぶ橋ができたことから、便利になり、その景観の美しさから、トヨタ自動車のコマーシャルに使われる等、多くの観光客が訪れるようになりました。その影響で島の経済は潤ったのですが、一番儲かったのはサッシ屋さんだといえます。皆、鍵

が必要になり玄関を代えたからです。本州と島と渡り船で往来をしていた時には、島民は皆、家族のような存在で人の垣根がなく、鍵は必要ありませんでした。しかし、多くの人が訪れるようになり、自ずとそこに壁ができるようになったのです。御講師が、「皆さんも世の中便利にはなったけれど、昔の方が良かったなあ、と思うことはないですか?」と問いかけると、多くの頷きがありました。はたして私たちの生活は、本当に良くなっているのでしょうか?

仏教では、人々や物の見方も、悪くなるのは、見濁、煩惱

濁、衆生濁といい。自分中心に物事を見て、欲望を際限なく燃やしていくからだといえます。「五濁悪世」は、絵空事ではありません。人間の欲望を満たすために発展してきた末、環境問題、エネルギー問題、経

済格差等の問題を抱えている、現代社会の行き詰まりを示しているのかもしれない。今一度、仏教の言う、足ることを知る「小欲知足」に目を向け、人間はどこかで欲望に歯止めをかけなければなりません。

命濁とは、命が汚れていくことをいいます。医療の進歩により寿命は延びましたが、その命のいただき方は、豊かになっっているでしょうか? 御講師が紹介された、あるお寺の掲示板の言葉「人と比べて喜ぶ時に人を傷つけ、人と比べて悲しむ時に自分を傷つける」は私たちのあり様をあらわしてはいないでしょうか。他人と人と比べ、勝った負けたばかりを、気にしては、本当に自分の命を生きて

いるといえるのでしょうか。『仏説阿弥陀經』には、仏様の国に咲く蓮華は、青色は青色の光を放ち、黄色、赤色、白色とそれぞれの花が、その色の光を放ち、ぶつかり合うこと無く照らし合い、それぞれが輝いているといえます。私たち皆、尊い、代わりのきかない命を生きています。全ての存在がそのままの姿において、ともに光輝いている世界が、仏様の国。お浄土といわれるのであって、私たちが本当に願う求めなければならぬ世界を教えてください。

お経典の世界と比べ、社会や私たちの求める幸福は、濁り汚れ、いびつなものになっ

てはいないだろうか、考えさせられました。

慶誠寺法務員 辰巳大之



# 草取り奉仕

令和5年6月15日(木)

6月15日、門信徒の皆さまにより草取り・仏具磨き・がとり行われました。皆様にはまず、境内の草取りをしていただき、本堂にてお寺の仏具磨きもしていただきました。庭も仏具も大変綺麗になりました。奉仕の後の昼食は、BBQインストラクターの資格を持つ当寺住職による、炭火焼ステーキ丼を皆さんに食べていただきました。奉仕活動にご参加して頂いた皆様、誠にありがとうございました。



## 6月15日 参加者名簿 (順不同敬称略)

沼田 順子  
佐久間 順子  
神田 悦久子  
細川 美智子  
永井 絹子  
田中 みえ子  
正平 美紀  
北村 利行  
中野 翼  
宮串 恭子  
佐々木 トキ子  
山本 民子  
山本 良子

# 仏具磨き奉仕

令和5年8月21日(月)

8月21日。お檀家の皆様に、仏具磨き奉仕をしていただきました。お盆を過ぎてもまだまだ暑い今年の夏。30度越えの日が続く中での仏具磨き。お寺の本堂のファンをフル稼働にして行いました。毎日火を灯し、黒くなった輪灯も、今回綺麗に磨いていただき本来の輝きを取り戻しました。9月の報恩講に向けて、綺麗になった仏具。大切に使用させていただきます。ご参加いただいた皆様、誠に有難うございました。



## 8月21日 参加者名簿 (順不同敬称略)

佐々木 トキ子  
沼田 順子  
永井 絹子  
佐久間 順子  
山本 民子  
鈴木 悦子  
田中 みえ子  
佐藤 君枝  
宮串 恭子  
正平 美紀  
山本 良子



お寺で学ぶ、お寺で遊ぶ、

安心の子どもサークル



ぎくし塾

2023

TERAKOYA KIDS  
寺子屋キッズ!



寺子屋キッズ!  
ぎくし塾への入会申し込みは  
いつでも受付しています。気軽にご連絡下さい。

TEL 0166-31-2871 (慶誠寺)

5月

鈴カステラづくり

令和5年5月28日(日)



慶誠寺法務員 辰巳大之

5月の活動は、タコ焼き器を使ったカステラづくりをしました。コロナウィルスの影響で、調理の活動はできなかつたため、3年ぶりのお菓子づくりです。ホットケーキミックスに蜂蜜を使い、カラフルなチョコプレートでトッピングを

します。参加の人数が多く、4つのテーブルに分かれ、それぞれで焼きました。カステラを焼いて食べるまで、どのテーブルも大学生を交え、笑い声が絶え間なく響き、改めてコロナ禍では、できない活動だと思いました。

6月

逃僧中

令和5年6月25日(日)



逃げる子ども達に追う大学生。ミッションは、みんなで協力してクリアする

6月の活動は、小学生に大人気のテレビ番組「逃走中」をお寺で行う「逃僧中」です。テレビさながらに、さまざまなミッションをクリアしながら、ハンターから逃げるというもの。逃げる子ども達に追う大学生。ミッションは、みんなで協力してクリアする

ものを、大学生が考えました。ミッションをクリアし、なおかつ捕まらなかつた子は、後で表彰しました。外で思いきり動いた活動。皆の顔が活き活きしていました。

慶誠寺法務員 辰巳大之





7月29日から慶誠寺で行われたお寺で一泊サマースクール。コロナ禍の為開催できなかった、お泊り会。3年ぶりの開催となり30名の参加がありました。今回「キッズサンガ」という、子ども達に仏縁をもってもらうための宗派の活動として行われ、本願寺や他のお寺の協力、予算もあり、当寺住職が、盛りだくさんの内容を企画しました。

開会式、皆でお勤めし、ご法話を聞いた後、プロのイラストレーター小川けんいち氏によるイラスト講座。小川さんは、松本潤主演のTBSドラマ「99・9」のセットのイラストを担当する等、一線で活躍するイラストレーター。その講義は、ただ絵を上手く描く技術を教えるのではなく、「楽しい」という感情を線で描いて下さい」と言い、続いて悲しいなど、様々な感情の線を、子ども達に描かせます。子ども達の表現はそれぞれ違い、本当に面白いものです。人が良い絵と感じるには、その人らしさがあらわれているかが大事なのだといえます。子どもの頃から絵が好きだった小川さん。絵が上手くなるには自分が好きなことをやり続けること。絵に限らず、自分が本当に好きだということ

を、大事にすることを子ども達に伝えていました。

バスに乗って「旅亭雪の屋」さんのお風呂に入り、戻ってきたら、皆大好きな

夕食のカレー。夕食後は、旭川のプロマジシャンJUNYA氏によるマジックショー。ただ見るだけでなく、子ども達も参加する等、なかなか見ることのできない、プロのマジックショーは、皆興奮でした。

夏の夜の楽しみの花火をし、大学生によるレクリエーション。懐中電灯を使い影絵遊びを堪能しました。2日目、朝食後に大学生が全員で遊べるレクリエーションをし、盛り上がり、解散。盛りだくさんの内容で、充実したお泊り会になりました。

慶誠寺法務員 辰巳大之







慶誠寺法務員  
正平勝導

# マサ坊の



# 重ねて固めたって良からうもん

私の車にはウインチが着いているのですが、そのウインチのリレーボックスのカバーを作ってみました。今回はFRP（繊維強化プラスチック）を使ってみました。

## Start!

①これがリレーボックスです。真ん中の出っ張りがコントローラーを繋ぐソケットです。本来ならキャップが有るのですが無くなっています。これでは雨等で故障するので対策をしなければいけません。

②以前に作って被せていたカバーです。数年間風雪に耐えてきたのですがついに限界が来ました。



⑥ファイバー布を切り出します。ハサミで簡単に切れます。これを型紙に重ねていきます。



③まずは型紙を段ボールで作ります。



⑦ポリエステル樹脂と硬化材を混ぜたものです。



④最初の型紙は大きかったので加工しました。



⑧重ねたファイバー布に⑦を塗っていきます。



⑤材料等々です。ホームセンターで入手出来ます。今回は船舶等の補修用キットを購入しました。



今回使ったFRPの材料は船舶等の補修用でしたのでファイバー布が厚すぎて型紙に合わせるのが大変でした。⑤に写っているアセトンは道具類を洗うのに使います。毒物なので扱いは注意しなければいけません。今回の作業全体に言えるのですが薬品の使用が多いのでゴム手袋やマスクは必要です。型さえ作れば大きな物でも作れそうです。



⑱ 切り取って穴を開けておきます。



⑱ 画像が見難いですが留め具をハトメで取り付けます。



## Finish!

⑱ 完成です。初めてFRPを使ったので要領を得ずサイズがちょっと大きくなって歪んでしまいましたが機能的には充分です。



⑬ 穴や凹み等をパテで埋めて補修成型します。



⑭ 留め具を取り付ける穴を開けます。



⑮ 塗装します。



⑯ 画像が悪くて見えにくいですが元々使っていたカバーに付けていた留め具です。これを再利用します。



⑨ 型紙にファイバー布が密着しました。



⑩ 完全に硬化したので型紙を剥がします。



⑪ 余分なところを除去し成形します。



⑫ FRP成形用のパテです。



# 後北条氏5代 No.0



## 早雲以前の関東

今回から新しいコラムを始めさせていただきます。戦国大名の先駆けと言われている、北条早雲とその子孫たちが作り上げた後北条氏(鎌倉時代の北条氏とは全く血縁関係はありません)について書こうと思っただけですが、この時代の関東についての話がないと訳わからなくなるので最初に早雲以前の関東についてお話ししたいと思います。

## 1 鎌倉公方、堀越公方、古河公方、

足利尊氏は京都の室町の地に幕府を開いたことで、室町幕府となるのですが、鎌倉と関東の存在問題になりました。そこで自らの息子(四男基氏)を鎌倉に派遣します。そして鎌倉府においてそのトップを鎌倉公方として関東全域を統括する存在として半ば幕府から独立した存在となるのですが、次第に室町幕府と対立していきます。その対立がピークに達するのは6代将軍足利義教と第4代鎌倉公方持氏との対立です。義教が將軍についてからと言うもの、悉くその意に背いてきた持氏については幕府と全面対決に至りますが結果は敗北。鎌倉公方はここで途絶えることとなります。(永享の乱)

立が激しくなり、この当時の関東管領、上杉憲忠を暗殺に成功し、その後30年以上続く享徳の乱が発生します。この戦いで鎌倉を追い出された成氏は下総の古河(現茨城県古河市)に本拠を移し以後、古河公方と呼ばれるようになります。

幕府は混乱した関東を鎮めるために8代将軍義政の弟、政知を鎌倉に送り込もうとしますが、成氏派の武将たちに阻まれ鎌倉に入府することは叶わず、伊豆の堀越(現静岡県伊豆の国市)を本拠地としたため、堀越公方と呼ばれるようになってきます。

## 2 関東管領・上杉家

室町幕府には將軍を補佐するナンバー2のポジションに管領がいます。そして鎌倉府にも同じような存在がいました。関東管領です。これは代々上杉家が継ぐようになっていきます。しかし時が流れていくうちに次第に鎌倉公方と対立するようになり、幕府よりになっていきます。そして永享の乱、享徳の乱では完全に幕府の味方として行動するようになります。そして上杉家も山内上杉、扇谷上杉と分裂してしまいます。

## 3 上杉禅秀の乱

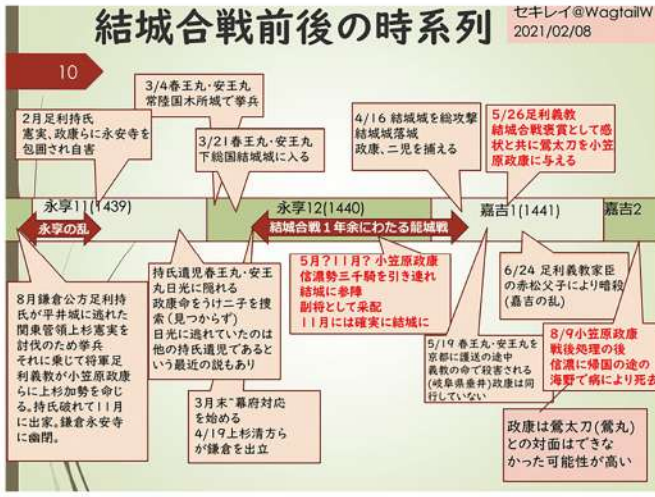
1416年10月末。先の関東管領上杉禅秀(氏憲)が時の鎌倉公方足利持氏と関東管領上杉憲基を鎌倉から追放し



ます。この時室町幕府に不満を持っていた足利義嗣(当時の将軍足利義持の弟)を味方に引き入れたことで、この乱に對峙する事を決っていた室町幕府も持氏に援助することを決め、近隣の守護大名にも上杉禪秀追討命令を出します。その為、多勢に無勢。上杉禪秀軍はわずかに3ヶ月で打ち取られ、禪秀は自害に追い込まれました。

## 4 永享の乱と

### 結城合戦



上杉禪秀の乱が平定されると持氏は残党の鎮圧と同時に幕府よりの北関東に住む一族を狙い、攻撃を仕掛けます。1428年4代将軍義持が重態に陥ると、4人の候補者からくじ引きで将軍が

決まりました。6代将軍足利義教です。この時4人の候補の中に持氏は入っていませんでした。短気で直情径行の持氏は幕府宿老たちが好んでいませんでした。このことに激怒した持氏は京都へ攻め上がることを考えますが、関東管領上杉憲実がなだめて実行はされませんでした。足利義教は歴代の征夷大将軍の中でも1・2を争うほどの熾烈で厳しい性格の持ち主でした。そんな二人だからまづどちらにも譲歩はなかつたでしょう。

1432年義教が仕掛けます。まず今川家の領国駿河(今の静岡県)へ向かいます。そこで持氏も駿河に招待するので持氏は無視します。その後幕府が動かないのを見た持氏は信濃(今の長野県)に侵攻します。と同時期に幕府と関東の間をなんとかしようと奔走していた上杉憲実が領国上野(今の群馬県)に引き上げ、幕府に助けを求めます。これを受けて幕府はついに持氏追討も決断します。しかし鎌倉公方側の軍事力の中心であった上杉家が幕府側についてしまったことで、持氏はあっさり自害することになりました。ここで幕府が鎌倉公方を出しておけば解決するのですが、そうはいきませんでした。北関東の名族、結城家が持氏の遺児を担いで幕府に反逆を挑むのです。しかし結城家も幕府側とは戦力では及ぶべくもなくあっさり敗れてしまいます。これで関東の問題が解決するかと思われた矢先、大事件が勃発します。6代将軍足利義教が暗殺されてしまうのです。(嘉吉の変)

## 5 享徳の乱



を命令します。ここから上杉、幕府連合軍が反撃に転じ、成氏側の本拠鎌倉を手に入れてしまいます。本拠地を失った成氏は下総の古河(現・茨城県古河市)に根拠を移します。以後成氏は古河公方と呼ばれるようになります。

足利義教の死は、関東をより混沌へと導くことになります。関東の混乱を鎮めるために幕府は鎌倉府を復活させます。持氏の遺児、成氏を鎌倉公方に復活させます。そして関東管領には憲実の息子である憲忠がつくのですが成氏から見れば憲忠、いや上杉家は父の仇にも等しい存在です。そのため憲忠を冷遇し、結城、里見、宇都宮、小田と言った実力者を登用するようになります。しかし憲忠もおとなしくすることもなく、成氏を攻撃するなど両者の間は完全に険悪な状態になります。1455年、上杉憲忠とその側近を成氏が暗殺します。ここから享徳の乱が始まります。

序盤は成氏側が攻勢をかけて上杉側を圧倒します。上杉家は憲忠暗殺の報告と、成氏討伐を求める使者を、幕府に立てます。幕府は駿河守護今川範忠に出陣

ここで勢いに乗って成氏を倒せば良かったのですが、頼みの今川家でもお家騒動が起こり関東に軍勢を送るのが難しくなつていきます。さらに幕府も成氏に変わり、当時の将軍8代義政の弟、政知を関東に送り込んだのですが、関東の諸勢力の支持を全く得られず、伊豆の堀越(現静岡県伊豆の国市)で足止めをくらうこととなります。さらに大軍を送り込もうと総大将に任命した、斯波義敏(有力守護大名の一人)が関東に行かないと散々な状態になります。また関東の諸勢力もお家騒動のゴタゴタが発生し、多くが弱体化してきます。ついには上杉家にも内部対立が発生し古河公方と上杉家は和睦が成立しこの乱は終結します。戦いが始まって28年間、関東はボロボロになります。鎌倉府は消滅し、鎌倉公方も古河、堀越と分裂し、関東最大の守護大名、上杉氏は分裂内部対立が始まり、他の諸大名も関東で覇権を取れるほどの力を持ち合わせていませんでした。さらに度重なる戦乱でこの頃の関東は荒廃してしまつたそうです。この直後、北条早雲が関東で台頭してくるので





# 秋季彼岸会のご案内

令和5年9月22日(金)~24日(日) 会場: 菊枝山慶誠寺

■勤行 13時00分~13時30分(30分)

■法話① 13時30分~14時10分(40分)

どなたでもお参りいただけます。

■法話② 14時20分~15時00分(40分)

併催 第19回 慶誠寺布教大会 令和5年9月22日(金)~24日(日)

開催日	法話内容	講師(慶誠寺)
9月22日(金)	法話① 他力本願	鎌田 大輔(法務員)
9月23日(土)	法話① かならず再び会う 法話② 凡夫	石田 慶嗣(住職) 正平 勝導(法務員)
9月24日(日)	法話① 如来の呼び声	辰己 大之(法務員)

## 秋季永代経法要のご案内

令和5年10月28日(土)~10月30日(月)

■法話① 13時30分~14時10分(40分)

■勤行 13時00分~13時30分(30分)

■法話② 14時20分~15時00分(40分)

## 10月29日 還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿のつどい

秋季永代経法要に合わせて

還暦(60歳)古希(70歳)喜寿(77歳)傘寿(80歳)米寿(88歳)卒寿(90歳)の集いを開催します。

ぜひ阿彌陀如来の尊前にて還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿のご奉告をしませんか?

**参加費無料! 記念品謹呈!**

持ち物/お念珠・身分証明書  
(年齢が確認できるものをご持参ください)

当寺門信徒で該当の方(還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿)は  
下記申込書にご記入の上、令和5年10月22日迄に、  
お寺までお申込み下さい。

### スケジュール

- 11時~12時 還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿の集い
- 12時~13時 お斉
- 13時~ 秋季永代経法要
- 13時半~ 法話

キトリ

還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿の集い参加申込書 (10月20日までにお申し込みください)

フリガナ		性別	生年月日
参加者名	様	男・女	明治 大正 昭和
ご住所	〒 旭川市	番地、マンション・アパート名、号室までご記入お願い致します	お電話番号 -

お問い合わせ TEL(0166)31-2871(菊枝山慶誠寺)



宗祖親鸞聖人

# 報恩講法要

2023(令和5)年9月10日(日)~9月12日(火)

9月10日(日)

13:30 初逮夜法要 『奉讃大師作法』

14:10 法話①

15:00 法話②

※参拝記念品を数量限定で配布

9月11日(月)

13:30 大逮夜法要 『宗祖讃仰作法(音楽法要)』

14:10 法話③

★旭川龍谷高校 聖歌隊★

15:20 法話④

※参拝記念品を数量限定で配布

9月12日(火)

11:00 満日中法要 『報恩講作法(報恩講式)』

11:40 法話⑤

※参拝記念品を数量限定で配布

きくし幼稚園・龍谷きくし保育園 園児参拝

## <ご法話/講師>

浄土真宗本願寺派  
布教使 滋賀県



報恩寺 住職  
鎌田 宗雲 師

TOPIC 慶誠寺仏教・人会バザーも開催!

手作り『なんばん味噌』も数量限定で販売!

TOPIC 参拝記念品は3品から1つを選択!

たまご1パック or 十勝清水牛カレー or ホエー豚カレー  
※お一人様1つの配布になります。なくなり次第終了。

報恩講の期間中に、このチラシをご持参下さい。

慶誠寺報恩講  
入浴剤1箱引換券





# 2023年 慶誠寺年間行事スケジュール

(令和5年)

掲載のスケジュールはどなたでも参加頂けます。お気軽にご来寺下さい。

## 〈宗祖親鸞聖人報恩講〉9月10日(日)～9月12日(火)

9月10日(日)	13時半	初逮夜法要
9月11日(月)	13時半	大逮夜法要
9月12日(火)	11時	満日中法要

## 〈秋季永代経法要〉10月28日(土)～10月30日(月)

10月28日(土)	13時	秋季永代経法要
10月29日(日)	11時 13時	還暦古希喜寿傘寿米寿卒寿のついで 秋季永代経法要
10月30日(月)	13時	秋季永代経法要

## 〈秋季彼岸会〉9月22日(金)～24日(日)

9月22日(金)	13時	秋季彼岸会 第19回慶誠寺布教大会
9月23日(土)	13時	
9月24日(日)	13時	

11月15日(水)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (仏教婦人会報恩講)
12月15日(金)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
12月31日(日)	22時半	除夜の鐘 幻冬フェスタ2023

10月15日(日)	11時	お寺でご飯
	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (世話人会・婦人会追悼法要)

## 慶誠寺からのお知らせ

## 年間維持費納入のお願い

維持費の納入は  
**12月31日**までに  
お願い致します。

2023年度の維持費は

**¥15,000**以上でお願いします。

**振込先** ゆうちょ銀行(郵便局) 口座番号/02880-4-1143 口座名義人/慶誠寺

お振込みの際には、お名前・ご住所・電話番号を明記して下さい。

「ものすごい雨だ!」雷鳴が鳴り響きゲリラ豪雨で旭川市内の四条通りがいたるところで冠水。天気予報を確認すると一時間に30ミリの局地的な雨。30ミリでこんなに凄いなら線状降水帯が発生して、一時間に100ミリを超える雨が予想されている地域ではどんな雨が降ったのだろうか想像できない。▼いま日本全国各地で起こっている異常気象。北海道でも毎日のように30度を越え真夏日を更新したり、ゲリラ豪雨で土砂災害が起こったり、一方では雨不足でダムが渇水していると報道されているが、これはもはや異常気象でなくて日常の気象になりつつあると感じた。そんな時、七月の世界の平均気温が、観測史上最高になる見通しが明らかになり、国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰化の時代が到来した」と警鐘を鳴らした。▼人間の科学技術の発達により、世界はとても便利になった。その代償として地球沸騰化が起こっているとするならば、沸騰化の原因である二酸化炭素の排出抑制など、現状の生活を根本から改めるかしない。▼しかし一度楽な道を進んだ人間にそれができるだろうか。SDGsで2030年までに様々な目標を掲げている。私達一人ひとりができることを真剣に取り組むべきだと思う。▼仏教とSDGsは親和性がある。SDGsが掲げている「誰ひとり取り残さない」という目標は、まさに仏教そのもの。お釈迦様が掲げた「天上天下唯我独尊、天にも地にもこの世に生まれた命は尊い存在である」と同じであると思う。尊いいのちだからこそ、この世に生きている生かされたいのち全てに敬意を表していかなければならないのだと思う。



住職の戯言

『日々是々』

地球沸騰化の時代

慶誠寺住職 石田慶嗣

HIBIKOREKORE Vol.19